

# 令和7年度

## 社会福祉法人 足柄緑の会

### 事業報告

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～7
2	法人利用者状況等	8～14
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	15～21
4	コスモス学園中沼ケアセンター	22～24
5	居宅介護事業所それいゆ	25～26
6	コスモス学園松田センター	27～34
7	相談支援事業所あすなろ	35～36
8	コスモスホーム	37～41

## 1. 社会福祉法人足柄緑の会

### 1. 概況

#### (1) 新型コロナウイルスの状況

発症例はあったが、勤務体制に支障が生じることはなかった。

#### (2) 行事

学園祭の開催は、地域やボランティアの方々のお手伝い、そして、行政を初めとした関係各所のご来場により、大変盛り上がった。

就労系のバス研修旅行は、例年どおり、公用車を使用して会社見学、食事会を行った。生活介護のバス旅行は、公用車を使って食事会を行った。利用者さんには大変好評だった。

### 2. 理事長の主な行動

#### (1) 情報交換・情報発信

- ① 総合施設長・総務部長・コスモス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼ジョブセンター」という）所長と毎週1回2時間程度のミーティングを行っている。行動予定、懸案事項の確認、その他情報交換は、意思統一が図れ有効に機能している。
- ② 11月1日付で、中沼ジョブセンター生産事業部を、同プラスチック担当へ、中沼ジョブセンター生産事業部長を、同プラスチック担当課長へ変更した。  
併せて事務所を移転した。
- ③ 旧多目的室を使い生活介護事業を次年度4月1日より開所するため、準備を行った。
- ④ 10月11日に開催した学園祭の場では、国会議員や首長をはじめ、多くの議員、福祉関係者と情報交換ができた。
- ⑤ 行事や全体会、職員会議、保護者会等に出席し、職員や利用者、保護者との意思疎通を図った。
- ⑥ 南足柄市社会福祉協議会「地域ネットワーク連絡会」に出席し、地域の社会福祉法人、医療法人他福祉関係の事業所と情報を共有した。
- ⑦ 1月29日の理事会審議終了後、東海理事を講師に、「入所施設の現状と課題」というテーマで勉強会を行った。
- ⑧ 「短時間正職員就業規則」を制定した。正職員の働き方の選択肢が広がることにより、定着率の向上につなげる。

#### (2) 中・長期対策

##### ① 設備の老朽化対策

- ・コスモス学園中沼ケアセンター（以下、「中沼ケアセンター」という）車両買替

4,159千円、エアコン2台買替316千円

・コスモスホーム 冷蔵庫2台買替353千円

・法人全体の器具备品 パソコン3台買替549千円

(参考) Windows10のサポート終了により、パソコン32台は買替ではなくリースでの入替を行った。

合計5,547千円を、補助金2,540千円、自己資金3,007千円で賄った。

② 不稼働資産対応

特に進展は無かった。

③ 後継者問題

特に中沼ジョブセンタープラスチック担当課長の後任については、常に問題認識しており、「中沼ジョブセンター将来検討会議」で議論している。

### 3. 法人の運営方針

#### (1) 感性症対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス、マイコプラズマ等については、単発の発症はあったものの、大きく広がることはなかった。飛沫感染対策用の用具は、各事業所に備えている。

#### (2) サービスの質の向上

##### ① 就労継続支援B型

###### ア 受注

・中沼ジョブセンターでは、受注部門において、新たに書類のPDF化作業を受注した。また、前年度に掲げた「工賃1,000円アッププロジェクト」が始動し、行政から草刈り作業を受託、県西地区の事業所と共同で取り組んだ。令和7年度の実績が評価され、他市町村からも同様の作業依頼を受けることができた。

令和7年度の平均工賃は、20,809円（前年度498円増）であった。

・コスモス学園松田センター（以下、「松田センター」という）においては、中沼ジョブセンターと連携し、草刈り作業や丁合作業に取り組むことで、作業の効率化を図り、生産性の向上につなげた。新年度は、アマゾン関連のセット作業が本格的に開始される予定であり、さらなる工賃アップを目指していく。

令和7年度の平均工賃は、15,455円（前年度299円増）であった。

###### イ プラスチック成形

取引先からの信頼は厚く、新規案件について継続的に受注することができた。また、定期的な製品単価の見直しや経費削減の効果により利益率が向上し、収支の改善につながった。これにより、工賃のアップに貢献した。

##### ② 生活介護

###### ア コスモス学園中沼ケアセンター

- ・自閉症の利用者に対しパーテーションによるエリアを作り、改善を重ねた。
- ・絵カードを使い、意思疎通を取りやすくした。利用者の人数を増やし、取組の幅を広げた。

イ 松田センター

外出活動では、その活動先を増やした。

③ 共同生活援助（グループホーム）

- ・忘年会を止め、新年会を開催した。
- ・今年度から「地域連携推進会議」を開催した。
- ・6月の中沼自治会美化活動は雨天中止になったが、11月の中沼自治会秋祭りに参加した。

④ 居宅介護（ヘルパー）

従来どおり、感染症対策を十分取りながら継続的に実施した。

⑤ 相談支援

対面による相談支援を行った。

(3) 職員の教育・育成

① 資格取得について

1名が介護福祉士、1名が相談支援専門員の資格を取得した。1名が経営実務会計3級に合格した。

② 新入職員教育

新卒採用はなかったが、途中で採用した職員、パートに対して、現場 OJT を強化し、スキルの伝承に努めた。

③ 採用活動

ア 学生

- ・教員免許取得のための介護等体験実習（かながわ福祉人材センター経由）：3事業所で4大生・短大生17名を受け入れた。
- ・保育実習：鎌倉女子大学短期大学部より2名を受け入れた。
- ・夏休み福祉体験学習（松田町社会福祉協議会経由）：立花学園インターアクトクラブ5名、大学生1名を受け入れた。
- ・法人行事への参加：立花学園インターアクトクラブは、学園祭の模擬店ボランティアに参加した。

イ その他採用活動

- ・事業所説明会は、例年どおり西部総合職業技術校の合同就職説明会に2回参加した。
- ・障害福祉分野マッチング支援事業（県事業）による体験実習を3名受け入れた。

ウ SNS委員会

・一昨年発足したSNS委員会は、毎月1回夕方1時間半の情報交換を行った。毎週1～2回、新規動画をアップしたが、視聴数は500を超えた。新年度からはTikTokだけでなくインスタグラムを取り入れ、視聴者の幅を広げたい。

④ 後継者の育成

所長を補佐する人材の育成は急務である。正職員への登用等により、育成を図った。

⑤ 職員のメンタルヘルス

メンタル不調の職員はいなかった。

今後とも、定期的なメンタルヘルスチェックを行い、早めの気づき、早めの対応につなげる。何より、風通しの良い職場環境を維持することが一番必要なことである。

⑥ 勤怠管理

「働き方改革」を踏まえ、決められた労働時間と時間外労働の明確化を図った。そして、管理者による適正な時間管理を行い、職員の労働時間に対する意識改革の醸成に努めた。

(4) 法人の社会的責任の遂行

中沼ジョブセンターでは、8月4日、南足柄市社会福祉協議会の夏休み寺子屋教室で、ロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。地域の小学生26名と利用者も数名参加し、地域貢献を果たした。

(5) 地域における公益的な取組

災害対応訓練（中沼3回、松田3回、コスモスホーム2回実施）、権利擁護支援（KWネット）、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業に参加し、行政や他の福祉施設、医療機関等との連携、協働を図った。

(6) 法令遵守

幹部職員との定例ミーティング等により情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、法令改正・働き方改革に対応した。

(7) 財務安定化

① 老朽化対策については、この先10年を一つの目途とし、実施時期、金額、調達方法等を洗い出し共有した。

② 利用者が前年度より4名増10名減（事業所ごとのカウント、うち就職4名）となり、自立支援給付費収益が8,607千円減（うち1,127千円は行政のミスで、令和8年度に計上する）となった。就労支援事業は中沼ジョブセンターの受注増により、増減差額が4,642千円増となった。

③ 各事業所とも利用率の向上に取り組んだ。また、節電、業務内容の見直し・効率化を図り経費の削減にも取り組んだ。

当期活動増減差額は、利用者減、前年度は特別な寄附金が11,000千円あったこと、職員3名採用（2名中途採用、1名パートから職員に登用）等による人件費増、最低賃金の大幅な上昇によるパート人件費増、物価高騰（車両、燃料、パソコン、厨

房機器、修繕工事等)により、前年度より大幅に下がったが、約17,500千円の黒字を確保した。

#### 4. 評議員会・理事会実施報告

##### (1) 評議員会

定時評議員会 令和7年6月20日(金)

報告事項

- ① 監事監査報告
- ② 令和6年度事業報告
- ③ 評議員選任・解任委員会報告

決議事項

- ① 第1号議案 令和6年度計算書類等の承認の件
- ② 第2号議案 理事選任の件
- ③ 第3号議案 慶弔見舞金規程の変更の件
- ④ 第4号議案 役員等報酬規程の変更の件集の件

##### (2) 理事会

令和7年度第1回理事会 令和7年5月28日(水)

報告事項

- ① 監事監査報告
- ② 理事長職務執行状況報告
- ③ 資金運用状況報告

決議事項

- ① 第1号議案 令和6年度事業報告の承認の件
- ② 第2号議案 令和6年度計算書類等の承認の件
- ③ 第3号議案 評議員選任候補者の推薦の提案の件
- ④ 第4号議案 理事選任候補者の推薦の提案の件
- ⑤ 第5号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
- ⑥ 第6号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の変更の件
- ⑦ 第7号議案 役員等報酬規程の変更の件
- ⑧ 第8号議案 評議員選任・解任委員会の招集の件
- ⑨ 第9号議案 定時評議員会の招集の件
- ⑩ 第10号議案 コスモス学園中沼ケアセンターの車両買替の件

令和7年度第2回理事会 令和7年6月20日(金)

報告事項

- ① 定時評議員会の議決事項報告

- ② 評議員選任・解任委員会報告

決議事項

- ① 第1号議案 理事長の選定の件
- ② 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任の件

令和7年度第3回理事会 令和7年7月31日（木）

決議事項

- ① 第1号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
- ② 第2号議案 たまご型容器用金型更新の件

報告事項

- ① リスクマネジメントについての報告
  - ア 虐待防止・身体拘束対策委員会
  - イ 災害・感染症対策委員会
- ② コスモス学園中沼ジョブセンター生産事業部からの報告
  - ア 株式会社GSユアサ 定期品質監査
  - イ ISO 9001（品質マネジメントシステム）定期審査
  - ウ KES ステップ2（環境マネジメントシステム）定期審査
- ③ 令和6年度社会福祉充実残額
- ④ 修繕・車両入替等計画（令和7年度～16年度）
- ⑤ 借入金一覧表
- ⑥ パソコンリース

令和7年度第4回理事会 令和7年9月30日（火）

決議事項

- ① 第1号議案 組織変更の件
- ② 第2号議案 定款施行細則の変更の件
- ③ 第3号議案 職務権限規程の変更の件

報告事項

- ① 火災保険の更新
- ② 自動車保険の更新
- ③ 虐待防止・身体拘束対策委員会「議論を避ける（人を動かすより）」の詳細説明

令和7年度第5回理事会 令和7年11月20日（木）

決議事項

- ① 第1号議案 キャリアパスおよび給与規程の変更の件
- ② 第2号議案 人事考課規程の変更の件

報告事項

- ① 理事長職務執行状況報告
- ② 令和7年4月～9月 財務三表報告

令和7年度第6回理事会 令和8年1月29日（木）

決議事項

- ① 第1号議案 令和7年度第1次補正予算承認の件
- ② 第2号議案 短時間正職員就業規則の制定の件
- ③ 第3号議案 出張旅費規程の変更の件
- ④ 第4号議案 就業規則、パートタイム・有期雇用労働者就業規則、無期転換職員就業規則の変更の件
- ⑤ 第5号議案 役員等賠償責任保険契約の件
- ⑥ 第6号議案 コスモス学園中沼ケアセンターエアコン取替工事の指名競争入札の件

役員勉強会

入所施設の現状と課題

令和7年度第7回理事会 令和8年3月30日（月）

決議事項

- ① 第1号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター生活介護事業開始の件
- ② 第2号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター運営規程の変更・制定の件
- ③ 第3号議案 令和8年度事業計画承認の件
- ④ 第4号議案 令和8年度予算承認の件
- ⑤ 第5号議案 令和8年度資金運用計画承認の件
- ⑥ 第6号議案 コスモス学園中沼ケアセンターエアコン取替工事の件
- ⑦ 第7号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター マイクロバス買替の件
- ⑧ 第8号議案 コスモスホームやまびこ・ひだまり・こもれば外壁塗装改修工事の件
- ⑨ 第9号議案 施設整備等積立金取崩の件
- ⑩ 第10号議案 設備資金借入の件
- ⑪ 第11号議案 経理規程の変更の件

## 2. 令和7年度法人利用者状況等

### (1) 事業所別利用者数

令和8年3月31日付

関係機関		南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			横須賀市			平塚市			湯河原町			計		
事業所	障害支援区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中沼J.C就労継続	2	1	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	
	3	2	1	3	3	0	3	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	11	
	4	6	4	10	3	1	4	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	10	7	17		
	5	0	3	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	5	6	
	6	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
	区分なし	8	2	10	2	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3	16	
	計	18	12	30	11	3	14	2	2	4	1	0	1	2	0	2	0	1	1	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	36	20	56	
中沼J.C日中一時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	計	1	0	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5	
中沼C.C	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
	5	3	3	6	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	8		
	6	3	4	7	3	7	10	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12	19		
	計	8	8	16	4	7	11	1	0	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	16	31		
松田C就労継続	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
	3	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7		
	4	0	0	0	1	3	4	5	0	5	0	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	8	5	13		
	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	区分なし	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4	0	4		
	計	0	0	0	4	3	7	8	0	8	0	0	0	3	1	4	5	1	6	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	21	6	27		
松田C日中一時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
松田C生活介護	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4		
	5	1	0	1	3	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	9	0	9			
	6	1	1	2	2	2	4	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7	5	12			
	計	2	1	3	5	3	8	3	1	4	2	0	2	2	1	3	2	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	18	7	25			
コスモスホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	3	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4			
	4	3	2	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	4	8			
	5	2	3	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6			
	6	2	1	3	0	2	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	8			
	計	8	6	14	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	16	11	27			
合計	37	27	64	29	19	48	16	4	20	5	1	6	9	3	12	10	2	12	5	2	7	0	2	2	0	1	1	1	0	0	111	61	172	
参考	R6年度合計	38	27	65	29	20	49	17	4	21	5	1	6	8	3	11	10	4	14	5	2	7	0	2	2	0	1	1	1	0	1	113	64	177

(2) 利用者年齢構成状況

令和8年3月31日付

年 齢		18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢	
就労継続 C	中沼JC	男		3	7	10	6	8		1	1	36	40.0
	女	1	2	1	6	4	5		1		20	40.0	
	計	1	5	8	16	10	13		2	1	56	40.0	
日中一時 C	中沼JC	男		1		2				1		4	41.0
	女						1				1	43.0	
	計		1		2	1			1		5	42.0	
中沼C	男	1	2		5	5	2				15	37.7	
	女			3	6	5	1			1	16	40.7	
	計	1	2	3	11	10	3			1	31	39.2	
就労継続 C	松田C	男			3	10	6	1		1		21	37.7
	女				2	2	1			1	6	47.8	
	計			3	12	8	2		1	1	27	42.8	
日中一時 C	松田C	男			1						1	28.0	
	女												
	計			1							1	28.0	
生活介護 C	松田C	男		2	5	9	1	1			18	31.2	
	女						1	6			7	31.6	
	計		2	5	9	2	7				25	31.4	
											全平均	37.2	
											男性平均	35.9	
											女性平均	40.6	

年 齢		18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホーム コスモス	男			1	5	3	4		2	1	16	46.0
	女			1	2	4	3		1		11	45.0
	計			2	7	7	7		3	1	27	45.5

(3) 医療状況

内科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/12	48	29		77
7/30			44	44
10/16	46	28		74
1/28			44	44
計	94	57	88	239

利用者健康診断(JA)

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/9	47	29		76
3/12			46	46
計	47	29	46	122

歯科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
6/12	47	29		76
7/10			44	44
計	47	29	44	120

インフルエンザ予防接種(任意)

実施日	中沼JC	中沼CC	コスモスホーム	松田C	合 計
11/20	40	27	1		68
11/12				36	36
計	40	27	1	36	104

## (4) コスモス会(自治会・福祉会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
全 体 会	12回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
納 涼 大 会	納 涼 大 会 ( 各 店 舗 補 助 )	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
コ ス モ ス 学 園 祭	学 園 祭 ( 各 店 舗 補 助 )	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 中 庭

## (5) 行事实施状況

実施日	行 事 名	場 所
7/18	納 涼 大 会	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
9/12	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
10/3	コスモスホーム利用者バーベキュー食事会	コ ス モ ス ホ ー ム
10/11	コ ス モ ス 学 園 祭	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
11/7	生活介護(中沼ケアセンター)バス旅行	サ ン ラ イ フ ガ ー デ ン
	生活介護(松田センター)バス旅行	
11/14	就労(中沼ジョブセンター)バス旅行	まかいの牧場・ビュッフエレストランふじさん
	就労(松田センター)バス旅行	ヤクルト裾野工場・御殿場高原ビール麦畑
12/6	県西地区障害者文化事業 (コスモスホーム利用者外出)	川 東 タ ウ ン セ ン タ ー マ ロ ニ エ
12/19	ク リ ス マ ス 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
1/17	コスモスホーム利用者新年会	コ ス モ ス ホ ー ム
2/13	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟

(6) ボランティア状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC			2	9			2						13
中沼CC													
松田C			2	2	2	2	2	2	2		2	2	18
コスモスホーム													
イベント							36						36
合計人数			4	11	2	2	40	2	2		2	2	67

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加人数
10/29	避難訓練 (地震+火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	124
12/22	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	59
11/14	総合防災訓練 (火災想定)	コスモスホーム	15
1/26	避難訓練 (火災想定)	松田センター	30
3/23	避難訓練 (火災想定)	松田センター	30
3/12	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	118
3/28	避難訓練 (地震想定)	コスモスホーム	17
3/28	消火訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	26
		合計	419

## (8) 研修・実習等受入状況

実施日	研修・実習名	人数
4/14～18	職員採用実習(中沼ジョブセンター)	1
5/23	デイセンター永耕より職員派遣研修(松田センター)	1
5/26～27	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
6/9	職員採用実習(松田センター)	1
6/9～10	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
6/30～7/4	小田原支援学校3年生実習(中沼ジョブセンター)	1
7/14	小田原支援学校3年生実習(松田センター)	1
8/4～8/8	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
8/4～8/8	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
8/4～8/8	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
8/11～8/15	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
8/12～15	夏休み福祉体験学習(松田センター)	6
8/14～8/29	鎌倉女子大学短期大学部保育実習(松田センター)	1
8/18～8/22	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
8/19	神奈川県障害福祉分野マッチング支援事業実習(中沼ジョブセンター)	1
8/19	神奈川県障害福祉分野マッチング支援事業実習(中沼ケアセンター)	1
8/25～8/29	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
8/25～9/9	鎌倉女子大学短期大学部保育実習(松田センター)	1
9/1～9/5	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
9/29～10/3	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
10/20～10/24	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
10/20～10/24	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
10/27～28	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
10/27～10/31	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
10/27～10/31	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
11/25～26	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
12/1～12/5	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
12/8～12/12	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
1/12～1/16	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
1/15	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
1/19～1/23	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(松田センター)	1
1/28	神奈川県障害福祉分野マッチング支援事業実習(中沼ケアセンター)	1
2/2～2/6	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
2/4	神奈川県障害福祉分野マッチング支援事業実習(中沼ジョブセンター)	1
2/4	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
3/26～27	利用希望者体験実習(中沼ケアセンター)	1
	合計	41

(9) 令和7年度職員配置状況

	総合施設長	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	プラスチック担当	看護師	事務員	合計
中沼 JC (プラスチック)		兼務		1		16				8			25
中沼 CC		兼務		1		19					兼務		20
それいゆ		兼務			1			7					8
松田C	1	兼務		1		23					5		30
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		兼務		1		4			21		1		27
総務部			1									3	4
合計	1	0	1	4	1	62	1	7	21	8	6	3	115

令和6年度職員配置状況 <比較資料>

	総合施設長	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		14				7			23
中沼 CC		1				19					兼務		20
それいゆ		兼務			1			7					8
松田C	1	兼務		1		24					6		32
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		兼務		1		4			19		1		25
総務部			1									3	4
合計	1	1	2	3	1	61	1	7	19	7	7	3	113

(10) 令和7年度採用・退職状況

事業所	採用	退職
中沼 JC (プラスチック担当)	1	3
中沼 CC	3	2
松田 C	6	4
コスモスホーム	5	3
あすなろ		
それいゆ		
総務部	1	1
合計	16	13

令和6年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採用	退職
中沼 JC (生産事業部)	4	3
中沼 CC	2	3
松田C	5	4
コスモスホーム	4	1
あすなろ		
それいゆ	1	
総務部		
合計	16	12

## (11) 令和7年度 職員研修出席状況

日 時	外 部 研 修	人 数
5/30	WEBセミナー:時短と業務品質向上を目指す生成AI導入の進み方セミナー	1名
6/16	WEBセミナー:高齢者・障がい者の移動・外出支援「もっと制度を活用できる」	1名
6/28	WEBセミナー:第16回プチパワーアップセミナー「強度行動障害者支援の新たな方向性と課題」	1名
7/3、4	第52回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会 茨城大会 「いやどうも！桜梅桃李～ひとりひとりが輝くまちへ～」	2名
7/10、11	令和7年度 全国知的障害関係施設長等会議 「福祉の未来と展望一質の高い障害福祉サービスの提供のために」	1名
7/15	WEBセミナー:権利擁護ネットワーク連絡会 「未来につなぎたい福祉人財」	2名
7/29、8/8	ジョブコーチ研修(神奈川障害者職業センター個別研修)	1名
8/14	令和7年度 障害福祉施設協議会 新任職員研修会 「今、障害福祉施設に求められる支援とは～意思決定支援と地域での暮らし～」	1名
8/27	神奈川県知的障害施設団体連合会 8月支援スタッフ部会 「虐待防止・身体拘束廃止研修 ～自分や周りの支援を振り返ってみよう～」	1名
9/3、4、8、 10/23、24、 11/21、12/18、19	令和7年度神奈川県相談支援従事者初任者研修	1名
9/11	神奈川県知的障害施設団体連合会 事務研修部会 「福祉における求人トレンドと採用市場について」	1名
10/9	都道府県経営協セミナー前期	1名
11/23～12/1	WEBセミナー:令和7年度 神奈川県相談支援・就業支援セミナー	1名
11/5～7	令和7年度リスクマネージャー養成研修	1名
11/5	神奈川県メンタルヘルス・治療と仕事の両立支援セミナー	1名
11/27、28	第61回全国知的障害福祉関係職員研修大会 福島大会 「明るい未来と未来の福祉～支援に携わる職員が福祉の未来を形作る～」	2名
10/10	運営指導の厳格化に伴う体制の整備について	2名
11/19	社会就労センター協議会 県内施設視察研修会	2名
12/10、11	甲種防火管理新規講習	2名
12/12	WEBセミナー:障害者グループホーム職員オンライン研修「権利擁護と意思決定支援」	1名
12/18	就労継続支援B型事業所 売上強化サポートセミナー	1名
R8.1/19	県西地区障害福祉関係職員研修会(行動障害のある人の支援・応用編)	1名
1/26	WEBセミナー:神奈川県オンブズマンネットワーク交流研修会	1名
1/26	神奈川県知的障害施設団体連合会 1月支援スタッフ部会 「ロボット介護機器・ICTの効果的な活用について」	1名
2/2	県西地区障害福祉関係職員研修会(行動障害のある人の支援・上級編)	2名
2/20	かながわ労働センター 仕事と育児・介護の両立支援セミナー	1名
3/4	WEBセミナー:Z世代！採用SNSセミナー	1名
日 時	法 人 研 修	人 数
5/10	中沼ジョブセンター研修プログラム 「アンガーマネジメントについて」「コミュニケーション技法」	16名
	中沼ケアセンター研修プログラム 「応用行動分析について」「利用者の呼び方について」	17名
	松田センター研修プログラム 「てんかん発作を知る」「障害者虐待対応」	23名
6/27	コスモスホーム・それいゆ研修プログラム 「美音の郷、プレアデス山崎ホーム 施設見学」	7名
R8. 2/21	午前 「風通しの良い職場づくり」 グループワーク形式による研修を実施し、どのような場面で職場の風通しが良くなり、逆にどのような瞬間に詰まりやすくなるのかを整理しながら、参加者間で感覚を共有することを目的として進めた。 午後 中沼ジョブセンター研修プログラム 「新人職員の基礎知識」「ケース記録について」 中沼ケアセンター研修プログラム 「障害者支援区分について」「支援費の仕組み」「ボディメカニクス」 松田センター研修プログラム 「薬剤に関連した医療事故について」	67名

### 3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 40 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	39	37	38	38	38	38	38	38	37	37	37	454
女	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20	230
計	58	58	56	57	57	57	57	57	57	56	57	57	684
退所			2							1			3
入所	1			1							1		3

### 3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和6年度	利用率	98.5%	10,284名
	施設外利用率	18.5%	1,926名
	合計利用率	117.0%	12,210名
(2) 令和7年度	施設内利用率	91.2%	9,520名
	施設外利用率	23.1%	2,414名
	合計利用率	114.3%	11,934名

令和7年度の新規利用者は、支援学校新卒者1名、一般雇用からの退職者1名、在宅障害者1名の計3名であった。一方、退所者は企業就労による3名であった。水福連携による施設外就労先の増加に伴い、施設外利用率は前年度を上回った。

### 4. 工賃実績

月	上半期							下半期							年間合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
延べ利用者実績	1,048	1,074	1,029	1,050	965	1,004	6,170	1,053	902	1,023	933	851	1,003	5,765	11,935人
工賃支払総額	1,004,889	1,047,929	1,012,269	970,459	932,889	956,989	5,925,424	994,169	861,709	1,027,029	930,969	846,199	877,225	5,537,300	11,462,724円
稼働日数	22	23	20	23	23	22	133	23	21	22	21	19	21	127	260日
平均工賃 時間額	296	301	304	285	298	294	296	291	295	310	308	307	270	297	297円
(円) 月額	21,095	22,442	19,675	21,258	22,235	20,970	21,279	21,715	20,062	22,087	20,954	18,893	18,367	20,346	20,809円

令和7年度平均工賃月額 20,809円 (前年度 20,311円)

令和7年度は、年間を通じて行政からの優先調達案件が増加した。加えて、8月より水福連携によるA店およびB店での施設外就労が拡大し、受注部門における就労支援事業収益は前年度を上回った。プラスチック成形においては、C社およびD社からの受注が好調で、事業収益は前年比105%となった。さらに、製造単価の見直しやコスト削減にも取り組み、事業収支の一層の改善につながった。

## 5. 日中活動

### (1) 奉仕活動

赤い羽根共同募金の街頭募金に参加した。(小田原百貨店南足柄店にて)

### (2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

### (3) 健康管理

身体機能の低下が著しい利用者が増え、日々のバイタルチェックは必須の状態となっている。また、食事形態の変更を余儀なくされる利用者も目立ってきている。

- ① てんかん発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ② 個々の利用者健康診断結果をもとに、健康支援会議を開催した。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。
- ④ 感染症対策として、出入口でのアルコール消毒、バイタルチェック、密を避けるための時間差対応などに取り組んだ。

### (4) フリープログラム

昼休みはカラオケ、カードゲームをグループで楽しめていた。

### (5) 地域交流

- ① 納涼大会、学園祭にて近隣自治会や福祉会よりボランティアの受け入れを再開し利用者との地域交流ができた。
- ② 南足柄市郵便局員が、作業ボランティアとして利用者と一緒に作業を行った。
- ③ 8月に南足柄市社会福祉協議会主催のモデルロケット教室を開催した。

## 6. 就労活動

### (1) プラスチック担当

#### ① プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね・納品準備

いすゞトラック部品の検査、梱包作業に新たに2名の利用者がチャレンジし、作業種を広げられるとともに、プラスチック担当支援員の作業を利用者作業に移譲することができた。

#### ② 利用者支援

製品梱包作業や検査業務を幅広く提供し工賃向上につなげた。また工場作業を通じて企業就労を目指す体験実習の場として環境設定を整えた。

#### ③ 効率的なプラスチック生産活動

物価高騰による減収改善のため、既存製品の値上げ交渉を行い、適正な価格に転換することで収益改善につなげた。また、成形スケジュールを見直し、計画的に成形することで生産力の向上につながった。

#### ④ 保管スペースの確保

必要在庫数を取引先と調整し、最小在庫で対応することで保管スペースの縮小につながった。

⑤ 職員体制の強化

プラスチック担当の納品業務、D社作業の利用者支援体制の強化として、作業指導員を配置した。

⑥ 品質管理体制

ISO9001の効果的な運用を推進し、内部監査員の監査スキル向上および内部監査技術研修の実施、ISO推進委員会議の定期開催を通じて体制強化を図るとともに、部署職員への品質研修を実施し、成形品の測定データ分析を活用した安定生産の実現、さらに自動取出機の機能活用による二次工程の自動化や製品識別・管理方法の改善など既存工程の見直しを進め、品質向上と生産の安定化を達成した。

(2) 清掃活動

新たに2名が清掃作業に参加した。園内清掃で技術を習得し、施設外就労にステップアップすることができた。

(3) 施設外就労

施設外就労については、りんどう会館清掃、E社、F社、G社、A店、B店の計6社から業務を受託し、実施した。また、県西共同受注業務として、開成町の草刈作業に近隣施設と共同で参加した。これらの取組においては、参加利用者27名、延べ2,036名の参加実績となった。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週3回行った。
- ② E社の構内における除草作業（窓拭き、ゴミ拾いを含む）を請け負い、週2回（火・木）実施している。大企業の構内で作業を行うことにより、適度な緊張感を持って業務に取り組む機会となり、身だしなみへの意識向上や言葉遣い、挨拶等の就労マナーの向上にもつながっている。
- ③ F社における施設外作業に参加した。6月をもってクロネコメールボックス作業が廃止となったことに伴い、その後は場内でのサンプル作成作業を中心に取り組んだ。企業において求められる業務の厳しさを実感する機会となり、言葉遣いや相手への配慮、納期を遵守する責任感の醸成につながった。
- ④ G社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を週2回（月・金）取り組んだ（1月～3月を除く）。
- ⑤ 水福連携事業においては、小田原市内のA店およびB店の2社と施設外就労契約を締結し、週4回（月・火・木・金）にわたり、練り製品の外観検査やシーリング作業等に従事した。両事業所は近距離に位置していることから、午前A店、午後B店にて作業を行う体制とし、効率的な就労支援の実施につながった。

#### (4) 受注作業

全ての利用者が何らかの作業に従事できるよう、幅広い作業種を確保した。新規受注として、PCおよびスキャナーを活用した行政機関の書類のPDF化業務に取り組み、利用者の新たな能力の発揮につながった。また、足柄上郡地域自立支援協議会就労支援部会において「工賃1000円アッププロジェクト」が開始され、行政からの作業発注の増加につながった。

##### ① H社

プラウトハンドル検査の受注は年間を通じて安定的に受注でき、ノークレームで対応することができた。

##### ② 神奈川県共同受注窓口

神奈川県共同受注窓口より、PDF化作業や大量受注案件を数多く発注いただき、300万円を超える収益となった。

##### ③ 足柄上地区地域自立支援協議会就労支援部会共同受注窓口

開成町よりサイクリングコースおよび町有地の草刈り作業を受注し、県西地域における工賃向上に寄与している。令和7年度の実績が他市町村へのモデルケースとなり、令和8年度には新たに南足柄市保健センター、狩川歩道、公園・市有地の草刈り作業を受注するに至った。

#### (5) 障害者優先調達推進法に基づく行政との連携

足柄上地区地域自立支援協議会就労支援部会（以下、「就労支援部会」という）を通じて、市町村行政、県西地域事業所に向けて障害者優先調達推進法の理解を働きかけた。

① 12月に開催された一市五町首長会議に出席し、「工賃1,000円UPプロジェクト」の令和7年度実績を報告し、更なる優先調達実績の向上を訴えた。

② 2市8町と県西地域事業所に向けて定期的に就労支援部会を開催し、共同受注による参加事業所の増加と優先調達実績状況が向上していることを伝えた。

③ 県西地域事業所の就労支援パンフレット「マッチング請負人」を作成して、行政機関に配布した。

#### (6) ビジネスマナー

就労希望者に対して、個別支援を行った。

① 就労に必要な力をつけるために、イ) 呼ばれたら返事をする ロ) 仕事は一生懸命取り組む ハ) 人に迷惑をかけない ニ) 自分のことは自分でやる  
4つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

② 日中活動を通じて、ビジネスマナーで学んだことを繰り返し実践した。

③ 身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、SNSの使用マナー等の重要性を伝えた。

## (7) 実習支援

### ① I社

Hさん男性（20歳） 障害者求人として就労支援センターぽけっとより紹介を受け、清掃業務の雇用前実習に参加した。

期間：令和7年5月27日～5月30日（4日間）

### ② I社

Oさん男性（51歳） 障害者求人として就労支援センターぽけっとより紹介を受け、清掃業務の雇用前実習に参加した。

期間：令和7年5月27日～5月30日（4日間）

### ③ J社

Hさん男性（45歳） J社より、令和7年2月の雇用前実習の実績を考慮され、チェキ製造ラインでの搬入搬出部門での雇用前実習に参加した。

期間：令和7年5月15日～5月21日

### ④ 松田町役場

Tさん男性（47歳） 松田町役場より、退職従業員との入れ替わりにより清掃の雇用前実習に参加した。

期間：令和7年6月24日～6月30日

### ⑤ ハローワーク松田

Yさん男性（20歳） ハローワーク松田庶務課でのチャレンジ雇用求人の雇用前実習に参加した。

期間：令和7年12月3日～12月5日

## (8) 求職活動支援

就労支援機関と連携を取り、就労支援活動を実施した。

### ① J社

Hさん男性（45歳） ハンドパレットでの搬入、搬出、段ボール組み立て等の求人に応募した。結果：採用

### ② I社

Oさん男性（52歳） 食品容器の洗浄作業の求人に応募した。結果：採用

### ③ 松田町役場

Tさん男性（47歳） 庁内の清掃作業の求人に応募した。結果：採用

### ④ ハローワーク松田

Yさん男性（20歳） ハローワークチャレンジ雇用に応募した。結果：採用

## (9) フォローアップ支援

### ① K社

SNS詐欺被害者Sさんの継続フォローアップを行った。返済も計画どおり実施でき、安定した就労継続につながった。

② L社

情緒不安や体調面の不安から休職していたTさんのフォローアップ支援を行った。職場や関係機関の協力を仰ぎ、令和8年3月に復職している。

③ I社

入社後まもなく、病気のため長期休職となり傷病手当金等の手続きをサポートし治療に専念できる環境を整えた。

④ J社

2か月に1度モニタリング評価会を本人、人事担当者、コスモス学園の三者で実施した。対人トラブル等の早期解決に対応した。

## 7. 余暇活動（共通）

(1) 納涼大会

事業所ごとでの開催となった。コンパクトではあるが、利用者のニーズに応えることができた行事となった。

(2) 学園祭

法人全体での学園祭を開催した。ボランティアを受け入れ、地域交流につながった。

(3) バス研修旅行

11月14日(金)に富士宮市にある、まかいの牧場で動物とのふれあい体験を楽しみ、レストランふじさんにて昼食バイキングを楽しんだ。

## 8. 職員研修（共通）

(1) サポーターズカレッジ（eラーニング）を導入し、定期的に職員研修（OJT）に取り組んだ。初任者の障害理解、障害特性の理解を中心に研修を行った。

(2) ロボット介護機器・ICTの効果的な活用について外部研修に参加した。

(3) 神奈川県社協主催の新人職員研修に参加した。

(4) 法人内研修

① 5月にアンガーマネジメント研修を行った。

② 2月に「風通しの良い職場にするために」をテーマに法人全体研修を行った。

## 9. 事業所運営（共通）

(1) 障害特性、人権擁護、虐待防止等の研修を職員会議にて行った。

(2) 虐待防止・身体拘束対策委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(3) 火災・地震を想定した避難訓練を実施した。

#### 10. 地域活動（公益活動、共通）

開催	行事名	場所
7月	納涼大会	中沼ジョブセンター
8月	南足柄市社会福祉協議会主催 モデルロケット教室	南足柄市立南足柄小学校
10月	学園祭	中沼ケアセンター
12月	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ

#### 11. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。
- (2) 中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。
- (3) 工賃会議を8月、2月に実施した。
- (4) 利用者健診
  - 健康診断を年1回実施した。
  - 内科健診を年2回実施した。
  - 歯科検診を年1回実施した。
  - インフルエンザ予防接種を実施した。

#### 4. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	18	18	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	198
計	33	33	32	32	31	31	31	31	31	31	31	31	378
退所		1		1									2
入所	1												1

#### 3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和6年度 104.7% 7,377名

(2) 令和7年度 104.2% 7,345名

#### 4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月18日～21日	環境フェア	南足柄市文化会館
11月16日	日向公民館祭り	日向公民館
12月6日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンター マロニエ

#### 5. 日中活動

##### (1) スノーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をした方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。モニターにリラックスできる動画を流すことで雰囲気作りが進んだ。

##### (2) 運動・ストレッチ

ネット環境を整えたことで流せる音楽の幅が広がり、これまでより楽しんで体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。**血行促進を目的に足湯を行う利用者が増えた。**

##### (3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごせている。マイクの消毒は継続して行っている。

#### (4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞している。また、リクエストを聞くことで、見たいDVDを見られるようにしている。動画の幅が広がったことで利用者の好みに合わせやすくなった。車いすの利用者がマットやソファに降りられるよう対応した。

#### (5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。行ける公園のレパトリーを増やした。

#### (6) アニマルセラピー

中沼ジョブセンター、松田センターの利用者も参加されており、セラピー犬が来るのをとても楽しみにしている様子がうかがえた。セラピー犬と過ごすことに慣れてきており、室内の散歩を一緒に行う利用者が増えた。

#### (7) 地域交流

作品展へはコロナ以前とほぼ同等まで参加できるようになった。作品展示をすることで事業所の紹介をすることができた。

#### (8) 全般

職員数が少ない日が多かったこともあり、決まった日課を行うことしかできなかった。職員数の増加に伴い、幅を広げられるようにする。

### 6. 就労活動

#### (1) 制作活動

季節に応じた制作を今年度も行い、頻度を上げて取り組むことができた。自主生産品の販売機会が限られてしまったため、制作を行う時間が多かった。制作にタブレットを取り入れることで幅が広がった。

#### (2) リサイクル作業

アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。また、アルミ缶の分別についても利用者が携わる機会が増えた。

### 7. 余暇活動

#### (1) バス旅行

平塚のホテルサンライフガーデンで食事会を行った。食事だけでなく、ドライブ中に海も見え、みなさん楽しまれていた。

#### (2) クラブ活動

今年度も中沼ケアセンター単独で行った。

## 8. 職員研修

- (1) 障害全般について学ぶだけでなく、より専門的な内容に踏み込むことができるようになった。
- (2) 5月10日(土)中沼ケアセンター職員を対象に「応用行動分析」の研修を行った。
- (3) 2月21日(土)午前の部では全職員を対象に「風通しの良い職場」、午後の部では、中沼ケアセンターの職員を対象に、「障害支援区分について」、「ボディメカニクスについて」の研修を行った。

## 9. 事業所運営

- (1) 利用者の意思に則った支援を全体で心がけ、それを実行できるように取り組んできた。今後は専門性のある支援を行えるよう外部研修に参加し、事業所内研修も行えるようにする。
- (2) 虐待防止・身体拘束対策委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を更新し、有事の際の対応を周知した。

## 10. 支援他

職員の支援力向上を目的にeラーニングを導入し、共通の支援視点が定着した。学んだ内容を現場で活かし、絵カードの活用や環境の整理・分けを進めたことで、利用者が活動内容を理解しやすくなり、落ち着いて過ごせる場面が増えた。

## 5. 居宅介護事業所それいゆ

### 1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

### 2. 利用時間

- (1) 令和6年度 6, 505.50時間
- (2) 令和7年度 6, 118.00時間

### 3. 支援内容別利用時

- (1) 令和6年度
  - ① 身体 6, 112.50時間
  - ② 家事 215.00時間
  - ③ 通院 178.00時間
  - 総利用時間数 6, 505.50時間
- (2) 令和7年度
  - ① 身体 5, 713.00時間
  - ② 家事 217.00時間
  - ③ 通院 188.00時間
  - 総利用時間数 6, 118.00時間

総利用時間数は、前年度より387.5時間の減少であった。身体介護の利用は昨年より減少した一方で、通院等介助の利用は増加した。

### 4. ヘルパー業務

#### (1) 日常生活支援

身体介護や家事援助、外出や通院の付き添いなどについて、利用者一人ひとりの状態に合わせてながら、自立を大切に支援を心がけて取り組んだ。日々の関わりの中で状況に寄り添い、支援内容を工夫することで、安心して生活できるよう、生活の質の維持・向上につながる支援を行った。

#### (2) 適切なサービス提供

居宅介護計画書を作成し、利用者の状況に応じた支援が行えるよう心がけた。また、支援内容に変更があった際にも無理なく対応できるよう、相談支援事業所と連携を取りながら、定期的にはアセスメントやヒアリングを行った。利用者やご家族のニーズを丁寧にくみ取り、より良い支援につながるよう配慮した。

#### (3) 人権擁護

虐待防止に関するチェックを定期的に行い、サービスの適正な提供に努めた。

ミーティングでは利用者の立場に立った支援を意識し、支援内容や職員の対応について確認を行った。あわせてケース検討を通じて、職員一人ひとりの人権意識の向上に取り組んだ。外部研修については当年度は参加に至らなかったが、今後は積極的に参加できるよう努めていく。

#### (4) 地域連携

より良い支援サービスの提供ができるよう、相談支援事業所との連携を密に図り、情報共有および支援体制の調整に努めた。関係機関や他事業所との情報共有に努め、連携の強化を図った。

#### (5) 守秘義務の徹底

利用者のプライバシーを尊重し、業務上知り得た個人情報については守秘義務を徹底し、適正な管理に努めた。

### 5. 職員研修

- (1) 令和7年6月27日(金) 正職員を対象に「他施設見学」の研修を行った。
- (2) 令和8年2月22日(土) 全職員を対象に「風通しの良い職場」について研修を行った。

### 6. 事業所運営

- (1) 法人内の各事業所と連携を取りながら、職員同士の情報交換や課題の共有、相談などがスムーズに行えるよう、協力体制づくりに取り組んだ。
- (2) 虐待防止・身体拘束対策委員会等を活用し、虐待の防止や人権への配慮が行き届くよう心がけた。
- (3) 災害・感染症対策委員会等を活用し、感染症の発生や拡大の防止、事業所内の衛生管理に取り組んだ。また、災害時にはBCPを活用し、落ち着いて迅速な避難確保を図る。
- (4) 法令遵守(コンプライアンス)について理解を深め、日々の業務の中で意識して取り組んだ。
- (5) サービス内容の整理を行い、課題の把握に努めることで、職員の意識向上につながるよう取り組んだ。
- (6) 基本理念および基本方針について、職員に分かりやすく伝わるよう周知に取り組んだ。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒や毎日の検温、マスク着用を継続し、安心・安全なサービス提供を心がけた。感染状況は落ち着きつつあるが、訪問介護は利用者との距離が近くなる場面も多いため、引き続き注意して対応した。

## 6. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	212
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	296
退所									1				
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和6年度 104.8% 4,924名

(2) 令和7年度 106.2% 4,989名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
4月27日	松田町生涯学習センターまつり	松田町生涯学習センター
11月16日	松田町健康福祉センターまつり	松田町健康福祉センター
12月6日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ
12月9日～12月17日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
2月4日～2月6日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

プロジェクターや光ファイバー、お香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、個々の状態に合った運動をニーズ別で行った。マットを使用したストレッチ、ロング歩行や手作りダンベルを使用してインターネット動画配信の体操を見て、体を動かすなど楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは午後のプログラムに行い、参加した利用者は曲に合わせて体を動かしたり、聞いたり楽しく参加できていた。利用者が選んだ曲に合わせて、手を叩い

- たりと利用者個々の参加方法で楽しめた。
- (4) DVD鑑賞  
利用者が自己選択したDVDや動画配信をニーズ別に上映し、3か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。
  - (5) 外出活動  
車両の台数を増やし、ドライブ組と歩行組に分かれて活動に取り組んだ。感染症予防の観点から車内は適宜換気を行い、大型施設の利用は避け、公園や川沿いなど人の少ない場所を選定して実施した。
  - (6) 奉仕活動  
松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いの美化活動（ごみ拾い）を月1回、少人数に分かれて行った。利用者から挨拶をし、地域の方と話す場面もあった。
  - (7) 足湯  
11月～2月に実施している。入浴剤を入れ、足をマッサージすることで利用者全員がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。
  - (8) 地域ボランティアとの交流  
月1回のクラブ活動や行事に演奏ボランティアのクレッシェンドの方々が利用者の好きな音楽を演奏したり、一緒に歌ったりと楽しく行えた。
  - (9) 法人内他事業所との交流  
月1回、中沼ケアセンタープログラムのセラピー犬に参加している。ニーズのある利用者が多く、様々な利用者が参加できた。職員の情報交換もできた。
  - (10) 日中活動全般  
月1回、月末に医療ケア会議を行い、サービス管理責任者、看護師、支援員が参加し、情報共有ができた。  
個別で過ごしたい利用者のニーズに対応するため、多目的室に個別スペースを設け、個別対応が必要な利用者に配慮した環境整備を行った。

## 6. 就労活動

- (1) 制作活動  
利用者個々に折り紙や画用紙の色を選んで作成できていた。1つの作品を分担して様々な利用者が時間をかけて完成まで取り組んでいた。
- (2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査  
作業工程を増やし、複数の利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。
- (3) 重機部品の組付け・検査  
コルクをリング状の隙間に入れる細かな組付け作業であったが、希望者が多く、

さまざまな利用者が意欲的に取り組むことができていた。

(4) 広報誌の配達

自治会から依頼された広報誌を組ごとに丁合し、各組長宅まで配達をしている。地域の方と交流をすることができていた。

(5) その他

就労継続支援B型と連携して内職作業（コア材詰め、トッテ束ね）を様々な利用者が集中して取り組めた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーが開催され、個々の作品や利用者全員で協力して作成した貼り絵を展示会に出展した。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	83
計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27	335
退所												1	1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和6年度 107.6% 6,173名

(2) 令和7年度 105.5% 6,059名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 15,455円 (前年度 15,156円)

(2) 平均工賃時給 192円 (前年度 191円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総額	318,940	317,120	327,360	320,080	317,050	276,910	296,580	330,200	280,630	298,660	292,440	926,750	4,302,720
人数	515	527	518	549	471	515	550	472	515	486	437	504	6,059
時間	1,946	1,935	1,996	1,946	1,962	1,763	1,860	2,030	1,714	1,852	1,817	1,546	22,367

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

川沿いや松田山、新松田駅付近で月2回、美化活動（ごみ拾い）を行い、地域の方との交流も定着し、声をかけてもらうことが多かった。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所で回収を行った。月1回、松田町指定の再生資源回収業者が回収した。

(3) 歩行

健康診断の結果や筋力維持の目的がある利用者は、ご家庭と話し合い個別に時間を設定して行った。作業の合間に行うことで気分転換もできていた。

(4) フリープログラム

作業内容変更時に YouTube、DVD 鑑賞時間を設定し、気分転換をすることができた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーが開催され、作業の合間に個々で作品製作を行い、作品展示に参加した。

## 6. 就労活動

### (1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

M 社の作業に携わる利用者が増え、丁寧に取り組むことができた。

### (2) プラスチック製品の検査・計量

中沼ジョブセンターと連携を取り、様々な作業に取り組むことができた。

### (3) マスクの梱包作業

N 社からの受注は減少しており、**2種類**のマスク梱包作業を行っている。マスクの梱包数によって梱包方法が異なったが、指定された数、向きを揃えて取り組めた。

### (4) 化粧品サンプル・梱包作業

F 社からの受注で化粧品サンプルセット、封入作業を行っている。作業工程を守り、納期に間に合うように取り組めた。

### (5) 自動車部品のリサイクル加工

O 社からの受注は月によって波はあったが、**増加傾向で月平均約 3 万 2 0 0 0 個程**注文があり、納期に間に合うように取り組めた。

### (6) 広報誌の丁合作業

株式会社あおぞらポストから月末に 6,000 部の丁合作業の受注があり、中沼ジョブセンターと連携を取りながら、納期に間に合うように取り組めた。

### (7) 清掃活動

就労継続支援 B 型棟の清掃を行った。トイレや廊下、作業室を掃除機、モップで丁寧に行った。引き続き、感染予防で手すりや手が触れる場所のアルコール消毒は徹底して行った。

### (8) 施設外就労

**N 社のマスク梱包作業は、小田原工場へ出向いて実施していたが、受注数が大幅に減少したため、令和 7 年 6 月末をもって中止となった。F 社での作業は令和 6 年 4 月より再開していたが、ヤマト運輸株式会社の箱折り作業が令和 7 年 6 月末で終了したことに伴い、中止となった。**

### (9) 自主生産品作成

**松田町生涯学習センターまつり、松田町健康福祉センターまつり、新松田駅前のコスモス館、山北町、大井町のともしびショップに縫物製品の雑巾を販売した。**

## (10) その他

中沼ジョブセンターと連携し、障害者優先調達推進法に基づく開成町のサイクリングコースや公園の草刈り、草集め作業について、期限を厳守しながら取り組むことができた。共同受注作業では、高速道路に関するアンケート封入作業や絵本のアンケート差込作業を、指定された手順に沿って実施することができ、複数の利用者が携わる機会となった。

令和7年度の目標工賃（時給）は205円だったが、株式会社ヒノデ、株式会社アップ・スウェルの施設外就労終了やその他の内職受注量も減少し、平均工賃（時給）は192円となった。

9月24日（水）に中沼ジョブセンターと合同で、SNSにおけるトラブルをテーマに、神奈川県くらし安全防災局の方を講師として招き、消費者トラブル防止講座を実施した。利用者にとって分かりやすいよう、動画や寸劇を交えた内容で、消費者トラブルを身近な問題として実感しながら学べる研修となった。

## 7. 余暇活動（共通）

### (1) 生活介護レクリエーション

9月12日（金）に事業所内でミニ運動会を実施し、大玉転がし、おっかけ玉入れ、くす玉割り、借り物競争、パン食い競争などの競技を行った。利用者は2チームに分かれて参加し、協力しながら楽しく体を動かす機会となった。

2月13日（金）に事業所内でのど自慢大会（カラオケ大会）を実施した。本番さながらに入場曲や合格の鐘などを取り入れ、利用者・職員ともに楽しく参加し、盛り上がりのある行事となった。

### (2) 就労継続支援B型レクリエーション

9月12日（金）午前は事業所内でミニ運動会を実施し、お玉リレー、輪投げ、ボール送り、玉入れ、ボーリング、パン食い競争などの競技を行った。午後からは南足柄運動公園へ出かけ、公園内を走ったり、遊具で遊んだり、ボールを使用したゲームを行った。普段とは異なる活動に取り組むことで、多くの利用者にとって心身のリフレッシュや気分転換につながる機会となった。

2月13日（金）午前は外出活動として松田桜まつりに参加した。利用者はお小遣いを持参し、好きな物を買物しながら季節行事を楽しむことができた。午後からは室内でゲーム活動を行い、箱積み、ダーツ、ボーリングなどに取り組んだ。さまざまな利用者が楽しく参加し、笑顔の多い一日となった。

### (3) 生活介護バス旅行

11月7日（金）、中沼ケアセンターと合同で、平塚市にある結婚式場「サンライフガーデン」にて食事会を行った。

### (4) 就労継続支援B型バス研修旅行

中沼ケアセンターのマイクロバスを借用し、静岡県御殿場市にある時之栖へ行き、バイキングレストラン「麦畑」にて食事会を行った。昼食後は、裾野市にあるヤクルト工場を見学した。

#### (5) クリスマス会

12月19日(金)は、ニーズ別で活動を行うため、就労継続支援B型と生活介護に分かれて実施した。午前は制作活動としてクリスマスリース作りに取り組み、午後はお話ボランティア(パタパタママ)による公演、利用者発表などを行い、楽しく参加することができた。

#### (6) クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、映画クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて、月1回土曜日の午後に余暇を楽しんだ。

### 8. 職員研修(共通)

(1) 5月10日(土)、「てんかん発作を知る」「障害者虐待対応」の2部構成をテーマに、松田センター全職員を対象として、生活介護棟1階作業室にて研修を実施した。てんかん発作では、基本的な知識や対応方法に加え、動画視聴を通して発作時の状況を具体的に理解し、安全確保の重要性を再認識した。障害者虐待対応では、虐待の定義や事例を学び、利用者の尊厳を守る適切な支援の大切さを学んだ。グループディスカッションでは他職員の意見も共有でき、多くの気づきを得る機会となった。

(2) 2月21日(土)に全職員対象で研修を行った。

午前の部は、「風通しの良い職場にしていくために」をテーマに、グループディスカッションを中心として各事業所職員がそれぞれ感じていることや意見を出し合った。各職員によって物事の捉え方や考え方が異なることを共有し、多様な視点を学ぶ機会となった。午後の部は各事業所に分かれて実施した。松田センターでは、「薬剤に関連した医療事故について」をテーマに研修を行った。薬剤事故の事例を通して、日々の確認作業の重要性を改めて学び、確認不足や職員間のコミュニケーションエラー防止の大切さを再認識した。研修で学んだ「6R」を意識し、今後の安全な服薬対応と支援に活かしていく意識を高める機会となった。

(3) 事業所内研修で「車いすの使い方について」、「事業所内の危険予知について」の研修を行った。サポーターズカレッジの配信動画で「知的障がい者とは①」、「障がい者虐待防止①②」、「成人期ダウン症の疾患と不調・退行について」、「自閉症スペクトラムの理解について」、「通所施設でのBCP(地震)」、「社会・制度への視点」の研修を行った。

(4) 外部研修

7月3日(木)～4日(金)「関東地区知的障害福祉関係職員大会茨城大会」  
職員2名参加

11月27日（木）～28日（金）「全国知的障害福祉関係職員研究大会福島大会」

職員2名参加

(5) ストレッチ講習では、利用者個々に合わせたストレッチ方法や関節の可動域など講師の先生と一緒にいき、マニュアルを作成し、日々の運動プログラムに取り入れた。

## 9. 事業所運営（共通）

(1) 虐待防止・身体拘束対策委員会を他事業所と連携して行った。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(2) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を更新し、有事の際の対応を周知した。

(3) 12月22日（月）、1月26日（月）、3月23日（月）に河内地区の自治会長、地域の方と合同避難訓練を実施した。地域の方には横断歩道の誘導や利用者の安全確保を職員と一緒に取り組んでいただいた。

## 10. 令和7年度活動スケジュール

県西地区障害者文化事業、ちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーの作品展示や事業所紹介に参加した。

## 11. 支援他

(1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。

(2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。

(3) 生活介護・就労継続支援B型部署会議は月1回実施した。

(4) 工賃会議を7月、12月に実施した。

(5) 医療ケア会議は月1回実施した。

(6) 利用者健診

・健康診断を年1回実施した。

・内科検診を年2回実施した。

・歯科検診を年1回実施した。

・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

(7) ストレッチ研修は、12月24日（水）、3月25日（水）に実施した。

(8) 避難訓練は12月、1月、3月に実施した。

## 7. 相談支援事業所あすなろ

### 1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

### 2. 市町村別登録者数（令和8年3月31日時点）

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	28	山北町	4
南足柄市	40	箱根町	0
大井町	16 (1)	湯河原町	0
開成町	8 (2)	秦野市	16
中井町	1	藤沢市	2
松田町	15 (1)	横須賀市	1
		合 計	132 (4)

※ ( ) は障害児相談利用者数

### 3. 活動内容

#### (1) サービス等利用計画の作成

相談者を取り巻く環境の変化に応じて、サービスの追加や支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう、事業所の紹介や見学同行を実施した。

権利擁護の観点に基づき、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。また、本人を中心に、必要に応じて家族の協力を得ながら面談を行うなど、意思確認を行う場を設けた。

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

#### (2) モニタリング

相談者の状況に応じた面談を行い、関係先にも電話や訪問にて聞き取りを行った。通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況を確認している。本人、家族や支援機関と継続的に情報交換することで、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

#### (3) 地域における社会資源の活用

**グループホームの管理者**、行政のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー、病院の地域連携室など広く地域の関係機関と連絡を取り、本人に必要な社会資源の調整を行った。多職種が関わるケースでは定期的な担当者会議を行って情報共有した。足柄上地域自立支援協議会相談支援部会の会議などの参加を通じて相談支援事業所間での地域情報の共有を図った。

ご家族の状況に応じて、社会福祉協議会の提供する事業の紹介や地域包括支援センターへの情報提供を行い、地域生活の維持や生活基盤の安定を図った。

#### 4. 職員研修

法人、事業所内実施の職員研修に参加した。

#### 5. 事業所運営

(1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める

あしがら後見センターや足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会等の行った事例検討会や虐待対応研修、高齡障害合同事例検討会に参加し、相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める。

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

(3) 経費削減を徹底する。

面談、書類提出、法人本部への事務処理など効率よく業務遂行ができるようにした。

(4) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

対面での面談や電話による情報共有については、ご本人およびご家族の意向を踏まえ、感染症のまん延状況に応じて柔軟に対応を行った。

#### 6. その他

(1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

(2) 松田センター・あすなろでの毎朝の打ち合わせ、月1回の合同会議を行い、連携強化を進めた。

(3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。

## 8. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)

短期入所(空床利用型)

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	154	158	155	142	127	120	128	123	132	118	112	131	1,600
やまびこ	325	334	332	346	342	327	345	328	333	328	309	345	3,994
こもれば	300	308	296	306	300	296	311	295	305	302	248	273	3,540
合計	779	800	783	794	769	743	784	746	770	748	669	749	9,134
退居					1						1		2
入居													

3. 平均利用率

(1) 令和6年度 84.1%

(2) 令和7年度 83.4%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月15日	市・美化デー	中沼公民館・コスモスホーム周辺 (雨天中止)
10月19日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館
10月26日	中沼自治会秋祭り	中沼公民館 (雨天のため、作品展示のみ)
12月6日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ

5. 支援内容

(1) 障害者の地域生活・地域移行について

感染症も落ち着いてきて様々な活動が通常に戻る中、継続して利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行っている。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

① 利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができる

よう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標とした。

ア やまびこ・こもれび

自室の清掃、食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き、行事準備など個々に進んでできるようになってきている。

イ ひだまり

職員と一緒に自室の清掃、食器等の下膳、行事準備など個々の範囲でできることを見つけ、増やしていき意識できるようになってきている。

## ② 服薬管理・金銭管理

服薬管理対象者 21 名（令和 6 年度 21 名・令和 5 年度 20 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 27 名（令和 6 年度 27 名・令和 5 年度 25 名）であった。

金銭管理対象者 22 名（令和 6 年度 24 名・令和 5 年度 21 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。

## ③ 生活相談

ア 人間関係

例年同様に人間関係についての相談が多かった。人間関係については自分で解決できるよう支援している。自分で解決が困難な場合は溜め込まず職員に相談したり、相談支援事業所など関係機関も利用して、解決につなげるよう支援している。安定した人間関係を維持できるよう支援を継続中である。

イ 体調面

前年度に続き、身体の重度化・高齢化などに付随する内容の相談が多かった。関係機関（医療、行政、相談支援等）との連携がさらに求められている。また、間食等管理対象者 2 名（令和 6 年度 4 名・令和 5 年度 1 名）の支援を行うことで、体調面、メンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。また皮膚疾患患者が急増していて、1 名が難病認定となるなど定期的なケアも必要だが、支援者の知識の向上も求められてきている

ウ 今後について

前年度に続いて、自分の今後の在り方について相談を受けるケースが多くなった。本人の意思を汲み取りながら様々なサービスの活用を模索していく必要性が出てきている。

## (3) 本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

## (4) 日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連

絡調整は、法人内の日中事業所、居宅介護事業所との連携により十分な対応ができていますが、さらにニーズが広がることが予測されるため課題となった。

新型コロナウイルス、インフルエンザなど感染症の感染者はだいぶ減り、利用者がコスモスホーム内で隔離された期間もあったが、ホームの専従職員で十分に対応できた。

#### (5) 通院同行

12名の定期通院166件と19名の緊急・臨時通院94件（令和6年度13名の定期通院189件と16名の緊急・臨時通院47件）を実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。定期通院利用者については前年度とほぼ横ばいだが、臨時通院件数が昨年度より倍増傾向にある。定期通院については法人内の居宅介護事業所の通院等介助の利用の継続や職員の対応などで賄えたが、突発的な臨時通院については職員の確保も難しくなってくるため課題となった。

#### (6) 地域活動

地域行事については定期的に参加し、6月の市の美化デー(清掃活動)は雨天中止となったが、後日3名の利用者がコスモスホーム周辺の側溝の草取りを実施した。10月開催の「中沼自治会秋祭り」に3名の利用者と2名の職員で綿菓子店舗等を担当する予定だったが、悪天候のため出店は控え、作品展示には参加して日中事業所、利用者の作品を展示している。継続して定期的に自治会などの関係機関と連絡をとり、次年度以降の活動につながるようしている。

#### (7) 余暇活動

感染症等の状況も踏まえながら集団での外出活動は可能な限り継続し、余暇を目的とした外出活動や地域での催しにも参加できた。また、コスモスホーム内での活動についても季節折々の活動は継続して(七夕製作、花火、節分等)余暇を満喫している。個別での活動は継続して実施し、個々の買い物や外食(昼食)の機会の調整等を行い、個々のニーズに合わせた活動を提供した。移動支援など外部機関を活用した活動も継続している。

12月6日(土)の「県西地区障害者文化事業」に21名の利用者が参加した。なお、この日は昨年と同様に、大井町のデニーズで昼食を堪能した。

コスモスホーム行事は、10月3日(金)に「バーベキュー大会」を開催し25名の利用者が参加した。当日は利用者も焼き場に入って調理をするなど余暇を満喫できた。また前年度まで「忘年会」を12月に開催していたが、今年度から「新年会」に移行して1月17日(土)に中沼ケアセンター作業室にて開催した。24名の利用者が参加して、カラオケ大会、お楽しみ抽選会、クイズ大会などを実施して、余暇を満喫した。

## 6. 職員研修

利用者支援の質的向上、安定した事業所運営の維持を目的に令和7年度は下記の研修に参加した。今回は近隣のグループホームへの見学を実施して事業所の管理者の方々からの説明を聞く機会を設けることができた。

5月10日(6月27日)	法人内職員研修 「近隣のグループホームへの見学」 美音の郷、プレアデス山崎ホーム
7月7日	令和7年度第1回県西地区グループホーム連絡会 1名参加
7月23日	あしがら成年後見センター主催 高齢障害合同事例検討会 1名参加
10月14日	第2回県西地区グループホーム連絡会 1名参加
11月5日~11月7日	令和7年度リスクマネージャー養成研修会 1名参加
12月5日	県西地区グループホーム関係職員研修会 2名参加
12月12日	障害者グループホーム職員研修 「権利擁護と意思決定支援」(ZOOM) 1名参加
2月2日	県西地区障害福祉関係職員研修会 「行動障害のある人たちへの支援」
1月29日	第3回県西地区グループホーム連絡会 1名参加
2月5日	障害者グループホーム職員研修 「虐待防止と虐待対応」 1名参加(ZOOM)
2月21日	法人内職員研修 「風通しの良い職場にしていくために」

## 7. 事業所運営

- (1) 利用率は前年度より若干下がっている(1.7%減)。8月にひだまりから1名退去、2月にこもれば2階から1名退去となった。
- (2) 虐待防止・身体拘束対策委員会にはリーダー層が定期的に参加して、内容を事業所職員に周知して、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止、人権擁護の徹底を図った。
- (3) 災害・感染症対策委員会にて感染症の発生、蔓延の防止に努めた。4月に新型コロナウイルスの感染者が利用者で1名発生し隔離対応にて広がることなく収束し、インフルエンザ感染者は確認されなかった。
- (4) 感染収束後も職員の一定期間のマスク着用の推奨、3密の回避、間隔を取った食事、定期的な手洗い、手指の消毒の徹底、定期的な館内消毒を継続して感染症対策に努めた。
- (5) 防犯対策については、引き続き各棟ごと施錠を徹底した。
- (6) 事業所設備管理  
居室のエアコンを5台修理した。ひだまりとこもれば1階冷蔵庫を買替えた。経

年劣化が進んでいる。

(7) 法人内事業所との連携については、継続して通常の勤務体制の協力依頼の他、利用者の個別に対するニーズが高まっていることから(通院対応、余暇支援対応等)、さらに連携を深めた対応が求められる。また服薬管理方法について法人内事業所と調整して、8月から新たな服薬管理システムを導入、実施している。

(8) 総合防災訓練

- ① 11月14日に火災想定として通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施した。
- ② 3月28日に地震想定として避難訓練、消火訓練を実施した。
- ③ 10月19日に南足柄市・中沼自主防災訓練に3名の利用者と1名の職員が参加した。今回は訓練後、薬師堂で開催した講習会「段ボールベッドの組み立て方法」「簡易テントの組み立て方法」「消防士によるAEDレクチャー」に参加。指導を受けるとともに地域交流も図ることができた。

(9) 地域連携推進会議

12月15日(月)開催となり会議、施設見学の順番で進行した。利用者代表2名、保護者代表1名、地域関係者2名、行政担当者1名、コスモスホーム管理者、職員で実施した。地域関係者からは法人広報の地域への回覧、法人行事への参加の継続など、ありがたい言葉をいただいた。地域からのお願いとして地域行事への参加の継続、公民館清掃などボランティアとしての活動を検討してほしいとの要望があった。施設見学は会議終了後に実施して、入居利用者との交流につながった。

## 8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議、クルー会議を毎月実施した。利用者メンバー会議は毎月ユニットごとリビングで意見交換などを実施して食事に関する要望などを委託業者に伝え、可能な限り利用者の希望に沿ったメニューの提供につなげられた。また、個別支援計画作成のための面談を3回実施した。

## 9. 短期入所事業

今年度の新規契約については2名、利用総数については158名(令和6年度160名)となった。短期入所利用の要望は高い。感染症等の状況を見極めながら、事業を継続していく。